

2025年3月

各 位

東北生産性本部
会 長 三 浦 直 人

「2025年度 仙台シンポジウム」の年間申し込みのご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。当本部の事業に対しましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2025年度の仙台シンポジウムの企画がまとまりましたので、ご案内させていただきます。

2025年度仙台シンポジウムは、これまでの企業経営、政治、地方創生、マクロ経済、国際関係、国際政治、DXの7テーマを計画しております。

これまで以上の多くの皆さまからのご参加につきまして、どうぞよろしく願い申し上げます。

敬 具

(添付資料)

1. 年間参加申込案内・申込書
2. 「2025年度 仙台シンポジウム」の概要と講師の紹介

2025年度 仙台シンポジウム 年間参加申込案内

■ 参加費（年間7回分）

会員企業・労組・団体（2名） 80,000円（税込）
 非会員企業・労組・団体（2名） 108,000円（税込）

[参考] 単発での申し込みの場合

会員企業・労組・団体（1名） 7,500円（税込）
 非会員企業・労組・団体（1名） 10,000円（税込）

■ 申込方法

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、電子メール又はFAXでお申し込みください。電子メールの場合、メール本文にベタ打ちでも結構です。

■ 申込み期限

2025年5月30日（金）まで

■ 申込み・問合せ先

東北生産性本部 TEL. 022-261-0411
 FAX. 022-261-1474
 E-mail: tpc2@t-productivity-ce.jp
 tpc3@t-productivity-ce.jp

 2025年度 仙台シンポジウム 年間参加申込書

2025年 月 日

会社・労組・団体名			
ご住所	〒		
電話・FAX			
ご担当者	所属・役職・氏名		
	メールアドレス		
参加者氏名	所属・役職名		備考

申込書受領後、請求書を送付いたします。

「2025年度 仙台シンポジウム」の概要と講師の紹介

7月例会	演題	「わが国の経済成長に向けてAIが果たす役割」(仮題)
7月4日(金) 13:30~15:00	講師	国立情報学研究所 社会共有知研究センター センター長 新井 紀子 氏
	会場	ホテルJALシティ仙台 2階 「ローズ」
<p>東京都出身。国立情報学研究所社会共有知研究センター長・教授。一般社団法人教育のための科学研究所代表理事・所長。</p> <p>2011年より人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトディレクターを務める。人工知能と教育に関する研究や発言で知られており、著書も多数出版されております。人工知能がもたらす人と社会の未来、企業価値を高めるDX・AIについて講演いただきます。</p>		

8月例会	演題	「中国の発展と日本経済への可能性」(仮題)
8月22日(金) 13:30~15:00	講師	三菱総合研究所 代表取締役副社長 平井 康光 氏
	会場	ホテルJALシティ仙台 2階 「ローズ」
<p>長年にわたり三菱商事の中国事業に携わっており、中国ビジネスに関する豊富な経験と知識を持っています。中国では数々の表彰を授与されたご経歴もあり、今後の中国の発展と将来性、日本経済への影響や可能性についてご講演いただきます。</p>		

9月例会	演題	「今後の政局展望」(仮題)
9月19日(金) 13:30~15:00	講師	ジャーナリスト 鈴木 哲夫 氏
	会場	ホテルJALシティ仙台 2階 「ローズ」 予定
<p>今夏の参議院選挙結果を踏まえた今後の政局について講演を予定。</p>		

10月例会	演題	「国家安全保障戦略における経済安全保障」(仮題)
10月24日(金) 13:30~15:00	講師	地経学研究所 所長 鈴木 一人 氏
	会場	ホテルJALシティ仙台 2階 「ローズ」
<p>日本の国際政治学者。東京大学公共政策大学院教授、地経学研究所長。専門は、国際政治学、国際政治経済学、EU研究、宇宙政策、科学技術と安全保障など多岐にわたります。戦争や紛争、政治的対立を読み解く地経学について、経済安全保障の視点からご講演いただきます。</p>		

11月例会	演題	「地域事業による社会課題へのアプローチ」 (仮題)
11月5日(水) 13:30~15:00	講師	(株) SHONAI 代表取締役社長 山中 大介 氏
	会場	ホテルJALシティ仙台 2階 「ローズ」
<p>1985年、東京都生まれ。2008年、三井不動産株式会社に入社し、大型商業施設の開発・運営に携わる。2014年、山形県庄内地方に移住し、ヤマガタデザイン株式会社を設立。地域と全国から資本調達を行い、山形庄内から全国にも展開可能な課題解決のモデルづくりに挑む。山形県鶴岡市において、水田に浮かぶようなホテル「スイデンテラス」や、全天候型子ども遊戯施設「キッズドーム・ソライ」などを運営。地域創生に貢献する実業家として注目を浴びており、地方都市における課題解決について講演をいただきます。</p>		

12月例会	演題	「2026年 日本経済の展望」(仮題)
日程調整中	講師	双日総合研究所 チーフエコノミスト 吉崎 達彦 氏
	会場	ホテルJALシティ仙台 2階 「ローズ」 予定
<p>1984年一橋大学社会学部卒業。同年 日商岩井株式会社入社。広報誌『トレードピア』編集長などを経て、1991年米ブルッキングス研究所客員研究員。1993年から経済同友会に出向し、代表幹事秘書調査役。1995年に日商岩井調査・環境部に戻り、以後、調査畑を歩む。日商岩井とニチメンの合併により、2004年4月より現職。2026年の日本経済の展望について講演いただきます。</p>		

1月例会	演題	「事業を伸ばす攻めのDXとイノベーション」 (仮題)
1月29日(木) 13:30~15:00	講師	マネックスグループ 代表取締役社長 CEO 清明 祐子 氏
	会場	ホテルJALシティ仙台 2階 「ローズ」
<p>2001年京都大学経済学部卒業後、三和銀行(現三菱UFJ銀行)に入行。2006年MKSパートナーズに転じる。2009年マネックス・ハンブレクト(2017年にマネックス証券と統合)に入社。2020年マネックスグループCOOに就任。2023年マネックスグループ代表取締役社長CEOに就任。 オンライン証券業界において、リーダーシップを発揮している企業として、成長戦略やこれまでの経験で培われた経営マネジメントなどについて講演いただきます。</p>		

注1. 記載の演題は、変更となる場合があります。